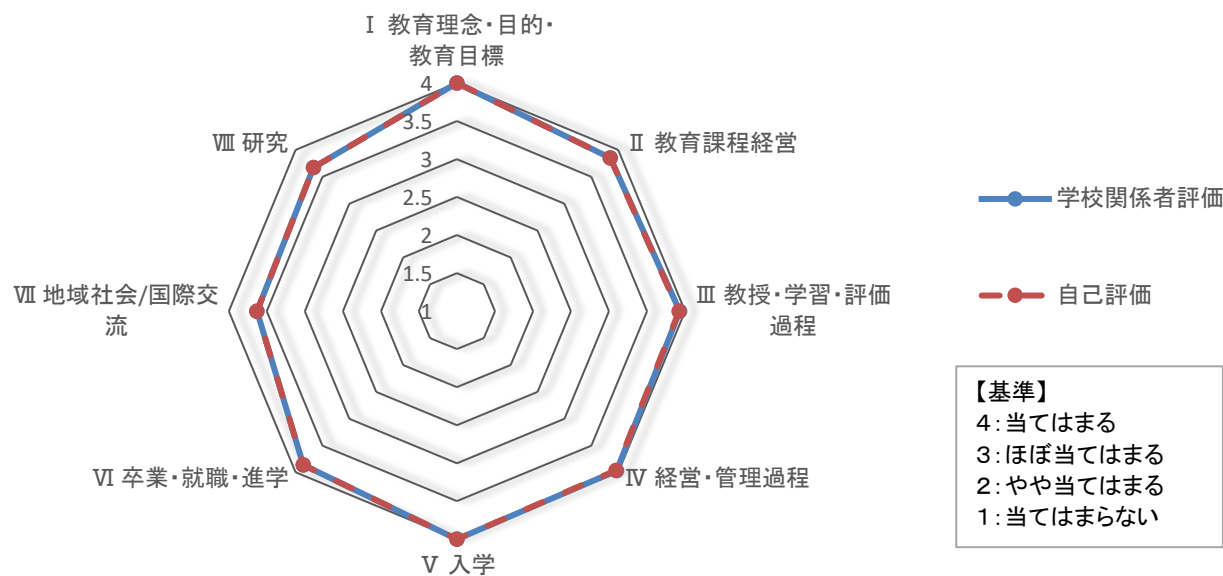


2024年度 学校関係者評価結果



【評価結果と課題】

カテゴリー	評価の概要	外部評価	自己評価
I 教育理念・目的・教育目標	・教育理念・教育目的は、学生にとって学習の指針になるように具体的に示している。教育理念・教育目的・教育目標は、看護の専門職に求められる専門性・自律性・倫理性・判断力・実践力についての考え方を示し、学生が卒業時点において持つべき資質をディプロマポリシーで示している。	4.00	4.00
II 教育課程経営	・講師会議を行うなど、外部講師を含めた教職員全体は、教育理念・教育目的・教育目標の達成に向けて一貫した活動を行っている。 ・教員の業務役割や担当科目変更による授業準備時間の確保が課題である。	3.85	3.85
III 教授・学習・評価過程	・教員会議、実習指導者会議、実習調整会議などで学生の目標達成状況を把握している。 ・Google Classroomの活用を始め、学生の学習が深化、発展できるよう学習を支援している。 ・学生からの授業評価、教員の自己評価・他者評価を実施している。	3.93	3.92
IV 経営・管理過程	・学習環境については更新や修繕が必要なため整備計画を策定していく。 ・危機管理については病院と連携しながら訓練等に参加する。 ・学校の危機管理についてマニュアルの整備をする。	3.97	3.96
V 入学	・教育理念・教育目的との一貫性をもって入学者選抜をするためアドミッションポリシーを示している。 ・入学試験の見直しを行い、学生の充足率は100%を維持している。	4.00	4.00
VI 卒業・就職・進学	・卒業生の状況把握は就職施設との情報交換をし、連携しながら支援をしている。 ・卒業後の活動状況および看護実践力の把握については方法の工夫が必要である。	3.86	3.86
VII 地域社会/国際交流	・地域社会との交流の拡大について検討されるとよい。	3.63	3.63
VIII 研究	・学会や会議等において、研究発表や実践報告をしている。 ・教員の研究活動が進むように計画的に時間を確保し、教員相互で支援しながら取り組む。	3.67	3.67